

日本特別ニーズ教育学会 2022 年度中間集会

開催案内（二次案内）

※開催方法変更

日本特別ニーズ教育学会は 2022 年 6 月 5 日（日）に開催します。当学会中間集会・研究大会として久しぶりの対面での開催に向けて準備を進めておりましたが、新型コロナウイルス感染状況等を鑑みてオンラインでの開催に変更いたしました。既にお申し込みいただいている皆様には、お申し込み後の変更となり申し訳ございません。

中間集会の内容は、午前：研究委員会による「若手チャレンジ研究会」（卒業論文・修了論文・修士論文・博士論文等のデザイン検討、SNE 学会における学会発表の予備的検討）、午後：準備委員企画による「基調講演・パネルディスカッション」により構成されています。準備委員企画では、「With/After コロナの時代における特別ニーズ教育の公共的役割を問う」をテーマに、基調講演には藤田英典氏（都留文科大学学長）をお呼びし、続くパネルディスカッションを通して、多様な教育的ニーズを有する子ども・若者に対する特別ニーズ教育の役割と課題を検討したいと計画しております。

オンラインでの開催ではございますが、より充実した集会ができるよう準備してまいります。参加申込み期間・参加費の納入方法は下記をご一読ください。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

2022 年 4 月 7 日

日本特別ニーズ教育学会 2022 年度中間集会準備委員会
堤英俊（都留文科大学）・内藤千尋（山梨大学）

日本特別ニーズ教育学会 2022 年度中間集会概要

1. 開催日程：2022 年 6 月 5 日（日）9:30～16:00
2. 開催方法：Zoom によるライブ配信
3. プログラム

日付	時程	プログラム
6 月 4 日（土）	17:30～19:30	【理事会】
6 月 5 日（日）	9:00～	受付開始
	9:30～12:10	研究委員会主催「若手チャレンジ研究会」 ①卒業論文・修了論文・課題研究・修士論文・博士論文等のデザイン検討、SNE 学会における学会発表の予備的検討 *若手チャレンジ研究会での発表申込みは、中間集会参加申込みに加えて別途手続きが必要です（別紙、要項参照）。 ②特別講義「研究・論文作成においてミスしがちなデータの統計解析」 池田吉史氏（上越教育大学）
	12:10～12:45	休憩・（午後からの参加者受付）
	12:45～13:50	基調講演

		藤田英典氏（都留文科大学学長） 「With/After コロナの時代における教育の公共性（仮）」
	13:55～16:00	パネルディスカッション 「With/After コロナの時代における特別ニーズ教育の公共的役割を問う」 司会 堤 英俊氏（都留文科大学） パネリスト 古屋和久氏（都留文科大学、元・山梨県身延町立身延小学校） 原田琢也氏（金城学院大学） 藤田英典氏（都留文科大学） コメンテーター 河合隆平氏（東京都立大学）

4. 準備委員会企画内容

「With/After コロナの時代における特別ニーズ教育の公共的役割を問う」

企画趣旨

「公共性」という概念は、1960年代から哲学・社会学・政治学などの分野で用いられ、民主的な社会や制度について考えるにあたって重要な意味を持ってきました。教育学の分野でも、1990年代以降、新自由主義的な教育改革や経済格差・教育格差との関わりから、「教育の公共性」が議論の俎上に載せられてきました。

新型コロナウイルスの感染拡大によって経済格差・教育格差が一層深刻化している状況の中で、あらためて「教育の公共性」とは何か、とりわけ「With/After コロナの時代における特別ニーズ教育の公共的役割とはなにか」について議論したく、本シンポジウムを企画しました。

基調講演・パネルディスカッションには、教育学の分野において「教育の公共性」論を先進的に牽引している藤田英典氏、小学校の現場で障害のある子どもを含む多様な存在を前提とした「学び合う教室文化づくり（公共空間づくり）」を実践している古屋和久氏、元中学校教員で子どもの貧困と学校文化の関係について探究している原田琢也氏にご登壇いただき、上記のテーマについてそれぞれのお立場から発題していただきます。これからの特別ニーズ教育について、通常の教育学と特別支援教育学の垣根を超えて、広く議論する機会にしたいと考えています。

5. 2022年度中間集会「若手チャレンジ研究会」要項

2022年6月5日（日）開催の日本特別ニーズ教育学会（SNE学会）2022年度中間集会においては、例年通りに「卒業論文・修了論文・課題研究・修士論文・博士論文等のデザイン検討、SNE学会における学会発表の予備的検討」を行う研究委員会主催「若手チャレンジ研究会」を実施します。

毎回、懇切丁寧な検討を受けられるので大好評です。以下の要領で発表者の募集を行いますので、奮って応募してください。応募締め切りは5月20日です。時間枠の関係で「6件」の募集となりますが、先着順で締め切らせていただきます。

なお当日の「若手チャレンジ研究会」においては、理事の池田吉史会員（上越教育大学）による特別講

義「研究・論文作成においてミスしがちなデータの統計解析」(40分)も行われます。

研究委員会

委員長 高橋智(日本大学)

河合隆平(東京都立大学)

黒田学(立命館大学)

<内容>

- ・卒業論文・修了論文・課題研究・修士論文・博士論文等のデザイン検討、SNE学会における学会発表の予備的検討
- ・発表時間 1件につき20分(報告14分、質疑・コメント等6分)
- ・オンライン双方向型にて実施

<応募資格>

- ・卒業論文・修了論文・課題研究・修士論文・博士論文等を作成中の学部・専攻科・大学院等の学生(SNE学会会員の有無を問いません)
- ・SNE学会における学会発表の予備的検討を希望する研究歴の短いSNE学会会員

<申し込み方法>

1. 「発表者の氏名、所属、SNE学会会員の有無、連絡先(住所・電話・メールアドレス)、発表テーマ」をメールにて、以下のアドレスまで送付ください。締め切りは5月20日です。申し込み先:高橋智(日本大学文理学部教育学科) takahashi.satoru02*nihon-u.ac.jp(*をアットマークにかえてお送りください)
2. 中間集会の参加申し込みページから参加手続きを行ってください。発表者の場合には、学部生であっても参加費用1,500円が必要です。

6. 参加申し込み・参加費の納入方法

参加費は1,500円(会員・非会員ともに)。なお学部学生・高校生以下は無料です。チケット販売サイトPeatixより事前に申し込み及び参加費の納入を行ってください。申し込み締切りは5月29日です。(コンビニ/ATM支払いの方は申し込み・支払い期日が5月28日となりますのでご注意ください。)



*Peatix申し込みページ URL <https://snechukan2022.peatix.com>

7. お問い合わせ先

2022年度中間集会準備委員会 堤英俊(都留文科大学)・内藤千尋(山梨大学)

E-mail sne.chukan2022y@gmail.com